

# 技術部門 放射線課

## ●職員構成

職員数：12人

診療放射線技師 12人 男7人 女5人

課長：佐藤 邦彦

主任：樋口 和之

## ●2020年度総括

①体制：職員12名（嘱託職員3名）

②安全対策：患者の名前を自ら呼称してもらう。  
患者間違い無しへの意識付けの徹底

③各セクションのまとめ（前年比較）

一般：胸部 増減なし・腹部件数 6.8%増  
骨件数 8.3%減、マンモ件数 4.9%増  
骨密度 17%減

TV：MDL 8.6%減 注腸 7.5%減

VF 3.0%減、シャント造影 6.8%増

CT：件数 1.9%減

（心臓検査 346件（16.0%減））

MR：件数 14.2%増

（脳MR 1672件（7.2%減））

超音波：腹部件数 2.9%減

アンギオ：PCI件数 201件

シャントPTA 108件

コロナ禍もあり全体として減少した

④機器保守管理

- ・高精密モニターのキャリブレーション
- ・一般・TV機器の日常点検 ・一般撮影検像確認
- ・CT・MR装置の日常点検実施
- ・CT・MR・アンギオ装置の定期点検実施
- ・アンギオ機械室空調管理
- ・TV装置の定期点検実施
- ・各セクション毎のマニュアル整備

⑤業務改善

- ・造影検査時のeGFRのチェック  
30以下は担当医に連絡する
- ・ヨード造影検査時の糖尿病薬服用のチェック
- ・読影のダブルチェック（読影医と担当医）  
依頼により新潟画像診断センター、東京遠隔読影へ
- ・MR装置の更新
- ・感染対策の放射線マニュアルの改訂、コロナ対策

⑥接遇目標

- ・「患者さんへの声かけをしましょう」  
順路票呼称による撮影部位の間違いを予防し、  
患者にリラックスしてもらうことを目的と  
する。やわらかい口調を心がける

## ●2021年度方針

①体制：12名

（嘱託職員2名、臨時職員1人）

②超音波検査体制の強化（途中入職者の研修）

③心カテ体制の強化（途中入職者の研修）

④研修マニュアルの改定

⑤院内医療放射線安全管理、医療安全、機器管理  
の改定・更新

⑥全員で取り組む平和・社会保障活動

⑦技師読影能力の向上

・消化器読影検討会への参加

⑧新潟市内各診療所への支援

⑨定期的な学習会の開催

## 2020年1月～12月件数

	2020年
一般合計	23042
TV合計	1198
CT合計	6031
MRI合計	2756
US合計	5916
PCI合計	201

